



総合力世界ナンバー 1 の 特殊鋼メーカーの実現に向けて

取締役常務執行役員
大前 浩三

山陽特殊製鋼技報第26巻発刊にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

平素より、山陽の特殊鋼製品をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。これもひとえに、長年に亘るお客様各位のご支援の賜物であり、改めて厚く御礼申し上げます。

さて、既に皆様ご高承のことと思いますが、山陽は本年4月より、スウェーデンに本社を置く特殊鋼メーカーである、Ovako社を完全子会社化するとともに、日本製鉄の子会社として新たな一步を踏み出すこととなりました。今後、山陽、日本製鉄、Ovakoの3社は、共通の事業方針のもと、グループの経営資源を持ち寄り、技術力の強化およびグローバル事業展開に向けた体制整備を進め、お客様のグローバル展開や高品質な特殊鋼製品の供給ニーズ等に応じて参ります。

その中でも、研究開発部門におきましては、お客様からの高品質な特殊鋼製品ニーズが一層高まっていく中、3社の強みを生かすことで、新たな特殊鋼製品や新しい製造プロセスの開発を従来以上のスピードで推していくことが期待されます。ご存じのとおり、日本製鉄は総合力世界ナンバー1の鉄鋼メーカーであり、特殊鋼製品においても自動車、産業機械をはじめ各分野で強い影響力を持つリーディングカンパニーです。また、Ovako社は山陽と並び、世界トップレベルの高精浄度鋼製造技術を有しており、欧州地域における特殊鋼のメインサプライヤーです。3社による連携強化の取組は既に始まっています。今後、お互いの強みを生かしながら、推進体制を整え、お客様からのニーズに迅速に対応していきたいと思っております。従来、山陽1社だけでは解決が困難であった課題も、3社の経営資源を持ち寄ることで大きく前進することができるものと期待しています。

営業部門におきましても、3社による連携の取組みはスタートしておりますが、商品メニューや強みのある営業分野、また販売地域などの面で、各社それぞれの得意分野があります。山陽としては、連携各社の得意分野を活用した営業力強化策を今後検討してまいります。一方で、山陽の強みである、小回りの利くきめ細かな営業体制は変わることなく、更に磨きをかけていきたいと思っております。これまで同様、製造、販売、技術一体となって、お客様への安定供給責任を果たしていくとともに、新製品のご提案、商品化を進めていきたいと考えています。

今後とも、皆様方の一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。